

都留市役所
「見える化」
取り組み②

市民参画による“事業仕分け”

最近話題の「事業仕分け」。本市では、平成19年から21年まで3年連続で開催し、39事業について実施しています。「事業仕分け」では、市民の皆さんの生活に直結する市の事業を、市職員と外部の仕分け人との討論により、「不要」、「新しい公共空間へ（民間委託など）」、「見直し」、「現状推進」などに仕分けします。また、本市の事業仕分けの特徴は、仕分け結果と討論が、市民目線から見て“共感できる”かどうかを判断する「一般市民評価者」が参加していることです。なお、一般市民評価者は、市民の皆さんから公募しています。

※仕分け作業における結果が、市の最終決定ではありません。各事業の仕分け結果を踏まえて、市では今後の方向性を決定しています。



■スクリーンを設置し、傍聴者にも分かりやすく「見える化」。当日の資料も見やすく工夫。

都留市役所
「見える化」
取り組み③

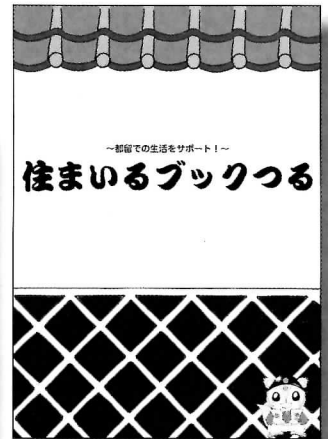
住まいるブックつる

戸籍・住民登録、印鑑登録などの手続き方法や子育てや保育についての各種手当や助成、観光情報や市内のレクリエーション施設などをカラー写真で掲載し、分かりやすく解説しています。都留市で生活するうえで必要な情報が、この一冊に集約されています。

「住まいるブックつる」は、市役所1階ロビーと市立図書館にて配布中です。また、市ホームページにも掲載しています。



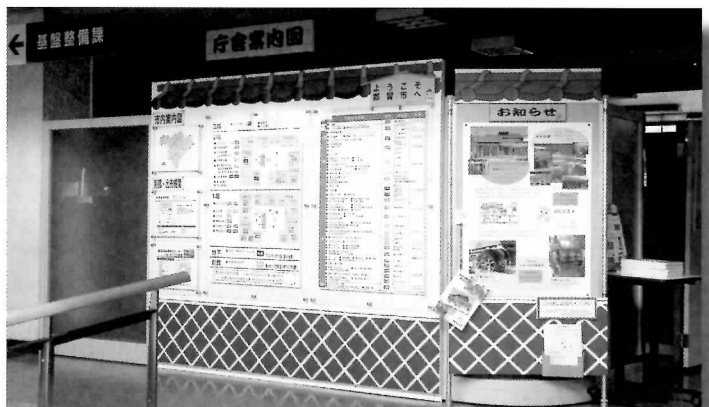
■「住まいるブックつる」(全117ページ)



都留市役所
「見える化」
取り組み④

庁内案内看板

来庁者が迷わず目的の担当課へ行けるように記載内容を工夫した庁内案内看板。また、担当ごとに主な業務内容を記載した、吊り下げ式の看板も追加しました。さらに、市役所裏側の別館にある水資源活用課への順路を床に矢印で表示し分かりやすくしました。



■市役所1階ロビーにある庁内案内看板



■各担当に業務内容を表示した吊り下げ看板を掲示



■市役所裏側の別館にある水資源活用課への案内矢印を床に表示